

令和5年度（第6期）

事業報告書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

銚子電力株式会社

第6期事業報告書

銚子電力株式会社

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

1. 株式会社の現況に関する事項

(1). 事業の経過及びその成果

当該会計年度におけるわが国経済は、不安定な国際情勢の継続に伴う、エネルギーを始めとした原材料費高騰によって企業設備投資や個人消費が抑制され、経済活動の停滞がございました。また、インボイス制度の導入、容量市場制度の導入等、様々な制度改定により、国民の不安や混乱が生じておるものと捉えております。

このような事業環境において当社は、「銚子市に根差した電力会社」として、地域貢献事業の取り組み強化や組織体制の強化を行いながら、主にコスト抑制を図ってまいりました。

以上の結果、当会計年度の売上高は、991,562千円（予算比80.4%）となりました。

利益につきましては、粗利益33,104千円（予算比84.4%）、営業利益2,639千円（予算比37.8%）、経常利益3,063千円（予算比46.1%）、最終利益3,063千円（予算比46.1%）となり、予算未達となりました。今期は利益剰余金のマイナスを解消し、404千円となりました。

電力事業の売上、仕入面においては、市場価格の落ち着きによってともに減少しましたが、粗利益面ではほぼ予算通りの結果となりました。

再エネ商材販売においては、予定していた部材販売が行われていなかったため、予算を大きく下回る結果となりました。

経費面においては、予算以上の人件費となったもののその他販管費の抑制等により、予算比94.3%となりました。

(2). 資金調達等についての状況

該当なし

(3).直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

	第 4 期	第 5 期	第 6 期
売上高 (千円)	825,027	1,309,855	991,562
当期純利益 (千円)	6,672	5,191	2,816
純資産額 (千円)	2,412	7,577	10,394
総資産額 (千円)	153,276	165,055	133,956
1 株当たり当期純利益 (円)	66.79	51.97	28.19

(4).対処すべき課題

2024 年度は、黒字体質の定着と更なる業績拡大を達成する重要な年度として、電力事業では営業体制強化による利益向上を行い、安定収益基盤の確立を目指します。

2024 年 4 月より導入された容量市場制度に伴って電力業界全体で料金改定の動きがあり、電力を利用する顧客においては多大な混乱が生じるものと思われるため、電力事業者としての説明責任を果たすことで顧客の離脱最小化を計ります。

また、銚子アスリートプランをきっかけとした広告施策の再開、販売代理店へのインセンティブ施策を行うとともに、当社の差別化要因である「地域に貢献する電力会社」という市場へのコミュニケーションの継続により、契約数を増加させて参ります。

銚子市内の発電所からの電力購入については、引き続き規模の大小を問わず、太陽光や風力といった再生可能エネルギーにより発電された電力の購入を推進して参ります。

再生可能エネルギー事業は、公的な補助金の活用や販売代理店との営業提携を行い、住宅用太陽光発電システムの拡販を行います。また、銚子市と連携し、公共施設への太陽光発電自家消費システム導入提案や自社発電所開発を行って参ります。

業務面では、電力事業関連システムの刷新により業務の効率化、安定化を図るとともに、再生可能エネルギー事業においても、さらなる業務フローの構築、効率化に取り組みます。

(5).主要な借入先及び借入額

借入先	借入残高
銚子信用金庫	1,488 万円
銚子商工信用組合	1,488 万円

2.株式に関する事項

(1).株主の状況

①.発行済株式総数 99,900 株

②.株主の状況

	名称	持株数	持株割合
1	銚子市	49,950 株	50.0%
2	株式会社 Looop	33,966 株	34.0%
3	株式会社エックス都市研究所	9,990 株	10.0%
4	銚子信用金庫	2,997 株	3.0%
5	銚子商工信用組合	2,997 株	3.0%

3.会社役員に関する事項

(1).役員に関する事項

氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
新谷 一将	代表取締役	—
越川 信一	代表取締役	銚子市長
永井 大介	取締役	エックス都市研究所 新事業創出チーム リーダー
伊東 孝之	取締役	株式会社 Looop
八角 貴志	監査役	銚子市職員

(2).取締役、監査役ごとの報酬等の総額

区分	人数	報酬等の額
取締役	4 名	660 万円
監査役	1 名	—

決 算 報 告 書

第 6 期

自 令和05年04月01日

至 令和06年03月31日

銚子電力株式会社

貸借対照表

令和06年03月31日 現在

銚子電力株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	130,681,053	【流動負債】	96,874,283
現金及び預金	1,824,904	買掛金	90,215,782
売掛金	128,689,434	1年以内返済長期借入金	3,072,000
貸倒引当金	△166,000	未払費用	2,209,410
貯蔵品	106,305	前受金	11,170
短期貸付金	150,000	預り金	185,321
前払費用	76,410	未払消費税等	934,100
【固定資産】	3,275,427	未払法人税等	246,500
無形固定資産	3,230,997	【固定負債】	26,688,000
ソフトウェア	3,230,997	長期借入金	26,688,000
投資その他の資産	44,430	負債の部合計	123,562,283
出資金	20,000	純資産の部	
敷金	5,000	科目	金額
預託金	19,430	【株主資本】	10,394,197
		資本金	9,990,000
		利益剰余金	404,197
		その他利益剰余金	404,197
		繰越利益剰余金	404,197
		(うち当期純利益)	2,816,995
		純資産の部合計	10,394,197
資産の部合計	133,956,480	負債・純資産の部合計	133,956,480

損益計算書

自 令和05年04月01日

至 令和06年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	991,562,682	991,562,682
【売上原価】		
期首商品棚卸高	158,901	
仕入高	958,405,517	
合計	958,564,418	
期末商品棚卸高	106,305	958,458,113
売上総利益		33,104,569
【販売費及び一般管理費】		30,465,528
営業利益		2,639,041
【営業外収益】		
受取利息	276	
受取配当金	400	
雑収入	890,369	891,045
【営業外費用】		
支払利息	466,471	466,471
経常利益		3,063,615
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純利益		3,063,615
法人税等		246,620
当期純利益		2,816,995

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和05年04月01日

至 令和06年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	6,600,000	
給料賃金	5,996,611	
賞与	120,000	
法定福利費	596,323	
福利厚生費	14,991	
業務委託料	1,290,000	
広告宣伝費	2,316,199	
旅費交通費	302,238	
通信費	1,465,736	
水道光熱費	142,512	
備品・消耗品費	290,547	
リース料	273,336	
地代家賃	388,192	
保険料	50,720	
租税公課	51,600	
支払手数料	7,370,542	
支払報酬	815,000	
寄付金	500,000	
減価償却費	1,622,453	
貸倒引当金繰入額	14,000	
貸倒損失	117,201	
雑費	127,327	
販売費及び一般管理費合計		30,465,528

株主資本等変動計算書

自 令和05年04月01日

至 令和06年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

株主資本

資本金

当期首残高

9,990,000

当期変動額

0

当期末残高

9,990,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期首残高

-2,412,798

当期変動額

当期純利益

2,816,995

当期末残高

404,197

株主資本合計

当期首残高

7,577,202

当期変動額

2,816,995

当期末残高

10,394,197

純資産の部合計

当期首残高

7,577,202

当期変動額

2,816,995

当期末残高

10,394,197

個別注記表

自 令和05年04月01日

至 令和06年03月31日

銚子電力株式会社

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）及び平成28年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しています。

②無形固定資産

定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について合理的基準により計上するほか個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

①消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 99,900株

(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数 0株

以上

附属明細書

1.有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

	資産の 種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額
無形固定 資産	ソフトウェア	4,582,796			1,351,799	3,230,997	3,528,002

2.引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	152,000	14,000		166,000

監査報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第6期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年6月7日
銚子電力株式会社
監査役 八角 貴志